

平成28年度社会福祉法人喜多方市社会福祉協議会事業報告

○事業年度 自 平成28年 4月 1日
至 平成29年 3月31日

1. 法人の運営

(1) 理事会・評議員会・監事会の開催

【理事会】

- 平成28年 5月27日 ○平成27年度事業報告の承認について
○平成27年度社会福祉事業会計収支決算の承認について
○役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の制定について
○平成28年度社会福祉事業会計収支補正予算〈第1次〉
(案)について
○評議員の選任について
※出席者 理事13名、監事2名
- 平成28年 7月 1日 ○会長、副会長の選任について
○苦情解決のための第三者委員の委嘱について
※出席者 理事15名、監事1名
- 平成28年12月16日 ○平成28年度上期業務執行状況について
○平成28年度上期社会福祉事業会計収支状況について
○定款の一部改正について
○定款施行細則の制定について
○評議員選任・解任委員会運営規則の制定について
○経理規程の一部改正について
○資産運用管理規程の制定について
○平成28年度社会福祉事業会計収支補正予算〈第2次〉
(案)について
○評議員(補欠)の選任について
※出席者 理事13名、監事1名
- 平成29年 2月21日 ○評議員選任・解任委員会委員に選任について
○評議員候補者の推薦について
※出席者 理事14名
- 平成29年 3月28日 ○経理規程の一部改正について
○情報公開規程の制定について
○基金及び積立金規程の制定について

- 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
- 平成 28 年度社会福祉事業会計収支補正予算（第 3 次）（案）について
- 平成 29 年度事業計画（案）について
- 平成 29 年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
- ※出席者 理事 14 名、監事 1 名

【評議員会】

- 平成 28 年 5 月 27 日
- 平成 27 年度事業報告について
 - 平成 27 年度社会福祉事業会計収支決算について
 - 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の制定について
 - 平成 28 年度社会福祉事業会計収支補正予算（第 1 次）（案）について
 - 理事（補欠）の選任について
 - ※出席者 評議員 24 名、会長、常務理事、監事 1 名

- 平成 28 年 6 月 16 日
- 理事の選任について
 - 監事の選任について
 - ※出席者 評議員 26 名、会長、常務理事

- 平成 28 年 12 月 16 日
- 平成 28 年度上期業務執行状況について
 - 平成 28 年度上期社会福祉事業会計収支状況について
 - 定款の一部改正について
 - 定款施行細則の制定について
 - 評議員選任・解任委員会運営規則の制定について
 - 経理規程の一部改正について
 - 資産運用管理規程の制定について
 - 平成 28 年度社会福祉事業会計収支補正予算（第 2 次）（案）について
 - ※出席者 評議員 25 名、会長、常務理事、監事 1 名

- 平成 29 年 3 月 28 日
- 経理規程の一部改正について
 - 情報公開規程の制定について
 - 基金及び積立金規程の制定について
 - 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について
 - 平成 28 年度社会福祉事業会計収支補正予算（第 3 次）（案）について

- 平成 29 年度事業計画（案）について
- 平成 29 年度社会福祉事業会計収支予算（案）について
- ※出席者 評議員 28 名、会長、常務理事、監事 1 名

【監事会】

- 平成 28 年 5 月 18 日 ○平成 27 年度事業報告並びに社会福祉事業会計収支決算
についての監査
- ※出席者 監事 2 名、会長、常務理事
- 平成 28 年 12 月 2 日 ○平成 28 年度上期業務執行状況及び財産の状況について
の中間監査について
- ※出席者 監事 2 名、会長、常務理事

(2) 正副会長会議の開催

正副会長会議を開催し、理事会、評議員会の提出議案について協議を行った。

平成 28 年 5 月 20 日

平成 28 年 12 月 9 日

平成 29 年 3 月 22 日

(3) 内部監査の実施

社会福祉事業会計及び介護事業、本協議会が事務局として会計を担っている福祉
団体等の会計について、常務理事を責任者として内部監査を実施した。

実施：上期と下期の 2 回実施。

(4) あおぞら税理士法人「青木会計」による会計指導

平成 28 年 5 月 6 日 ○平成 27 年度決算に係る会計指導

平成 28 年 11 月 17 日 ○平成 28 年度上期決算に係る会計指導

(5) 苦情解決第三者委員打合せ会の開催

苦情解決第三者委員との打合せ会を平成 29 年 3 月 24 日に開催した。

※出席者 第三者委員 3 名、常務理事、事務局長、福祉課長

・第三者委員に関する研修会への参加

平成 28 年 10 月 6 日、福島県社会福祉協議会が主催する研修会に委員 2 名が参
加した。

(6) 評議員選任・解任委員会の開催

平成 29 年 4 月 1 日からの任期となる評議員を選任するため、評議員選任・解任
委員会を開催した。

・平成 29 年 3 月 2 日開催 委員 5 名出席（定数 5 名）

(7) 各種委員会の開催

- ・役員報酬等検討委員会 平成28年4月22日開催
- ・役員及び評議員候補者推薦委員会 (平成28年4月及び5月に全市区分と地区区分ごとに開催)
- ・役員・評議員定数等見直し検討委員会 平成28年10月27日開催
- ・役員及び評議員候補者推薦委員会 平成29年2月3日開催

(8) 役員・評議員に対する研修会の開催

- ・社会福祉法人制度改革説明会

平成28年10月17日、役員・評議員に対して社会福祉法人制度改革に係る説明会を実施した。

- ・福島県社会福祉大会への参加

開催日 平成28年11月10日(木)

会場 郡山市「ユラックス熱海」

参加者 会長、副会長、理事・評議員 計15名

(9) 福祉活動支援金制度への理解と協力

自主財源となる福祉活動支援金の充実を図るため、行政区長会連合会並びに行政区に対して理解と協力を努めた。

福祉活動支援金実績額：6,488,670円

(10) 賛助会員の拡充

年間を通して賛助会員の新規会員の加入促進に努めた。

- ・新規賛助会員 企業等・団体 43件(金額：450,000円)
- 個人 47件(金額：118,000円)
- ・年度末賛助会員 企業等・団体 139件(金額：2,230,000円)
- 個人 215件(金額：805,000円)

(11) 運営、管理体制の充実

本・支所連絡調整会議(隔週開催)、事務事業推進会議(月1回開催)、管理者会議(月1回開催)を開催したほか、本・支所ごとに職員会議等を定期的に行い、課題解決並びに情報の共有化を図った。

(12) 職員の資質向上

- ・内部研修の実施

職員(正規職員・嘱託職員等)を対象に、本協議会の経営状況に対する理解を深めるため、本所職員により平成28年度の事業・決算状況の説明を行う内部研修を実施した。

(13) 介護職員養成・就労定着化事業（介護パワーアップ事業）

1) 介護職員初任者研修の実施

本市は福祉施設等における介護職員の不足が深刻な問題となっており、人材育成を図るため介護職員初任者研修を実施した。

- ①昼コース H28. 9. 27～H28. 11. 30 12名修了（受講12名）
- ②夜間コース H28. 9. 6～H28. 3. 14 9名修了（受講10名）

2) 介護の職場体験事業

介護の仕事への就労希望者等を対象に、介護職としての職務内容や施設・事業所の概要を知ることで就労につなげることを目的として、介護の職場体験事業を実施した。

登録事業所 14事業所（体験希望者なし）

3) キャリアアップ事業研修支援事業（市内の介護事業所・施設等を対象）

介護職員実務者研修等を受講するための経費を助成し、職員の資質向上と就労の定着化につなげるための支援事業を行った。

・補助交付実績数

介護職員実務者研修受講	13名（3法人）
介護福祉士国家試験対策講座等の受講	1名（1法人）

(14) 実習生の受入れ

- ・東北福祉大学 1名（24日間）
- ・会津大学短期大学部 1名（23日間）
- ・福島学院大学 1名（23日間）

2. 福祉のまちづくり事業

(1) 第12回社会福祉大会の開催

市民一人ひとりが社会福祉に対する理解を深め、地域福祉活動がより一層充実されることを目的として、第11回喜多方市社会福祉大会を開催した。

日 時	平成28年11月22日（火）午前9時30分
会 場	喜多方市総合福祉センター・多目的ホール
表 彰	社会福祉大会長表彰 1名、1団体 社会福祉大会長感謝 3名、1団体 福島県共同募金会長感謝 9名、11団体、21校
記念講演	「みんなで支え合う地域をつくるのは、今」
講 師	堀田 力 氏（弁護士、さわやか福祉財団会長）
参加者数	395名

(2) ふれあい社会福祉講座の開講

社会福祉を正しく見る目と豊かな創造力を養うことにより、社会福祉の進展に資することを目的として、ふれあい社会福祉講座を開催した。

第1講 平成28年7月6日(水) 午後1時30分

テーマ 「身近な病気の予防と対策」

講師 喜多方市地域・家庭医療センター「ほっと☆きらり」
センター長 武田 仁(たけだ ひとし)

受講者数：117名

第2講 平成28年7月13日(水) 午後1時30分

テーマ 「住み慣れたまちで生き生きと」

講師 福島県社会福祉協議会地域福祉課
主任主査 斉藤 知道(さいとう ともみち)

受講者数：104名

第3講 平成28年7月21日(木) 午後1時30分

テーマ 「音楽いきいきハッピー喜多方生活」

講師 音楽パフォーマー 細川 佳那枝(ほそかわ かなえ)

受講者数：124名

○聴講者計 345名

(3) 広報紙『きたかた社協だより』の発行

年4回(5月、8月、11月、2月)『きたかた社協だより』を発行し、社協の事業や福祉に関する情報、各種福祉団体の活動紹介など総合的な福祉情報の提供をするため全戸に配付した。

(4) 情報発信ツールの利活用

本協議会の事業内容をリアルタイムに広く市民に周知するため、平成29年1月4日よりホームページをリニューアルし、より充実した情報の提供に努めた。

<ホームページアドレス <http://www.kitakata-shakyo.or.jp>>

また、平成29年1月4日よりフェイスブックの活用を開始し、より手軽に本協議会の活動を知っていただくため、随時情報の発信に努めた。

<アドレスは、ホームページを参照>

3. ボランティア事業の推進

(1) ボランティア活動普及事業協力校の指定(24校)

市教育委員会、各学校の協力を得て、心豊かな児童・生徒を育成するためボランティア協力校を指定し、各学校の特色ある福祉教育の推進を支援した。

○市社協の指定校 第一小学校、第二小学校、松山小学校、上三宮小学校、第三小学校、関柴小学校、熊倉小学校、豊川小学校、慶徳小学校、熱塩小学校、加納小学校、堂島小学校、塩川小学校、姥堂小学校、駒形小学校、山都小学校、

高郷小学校、第一中学校、第二中学校、第三中学校、
会北中学校、塩川中学校、山都中学校、高郷中学校

○交付額 50,000円（1校につき）

(2) 傾聴ボランティア事業の実施

介護サービスを利用している高齢者等に対して、孤独感や不安感の軽減と精神的な健康維持の支援を図るため、傾聴ボランティア活動に係るコーディネートを行った。

また、傾聴活動における更なるスキルアップを図るため、他傾聴団体が主催するスキルアップ研修へ参加し、あわせて情報交換を行った。

傾聴ボランティア登録者数 23名（年度末）
ボランティア活動提供施設数 11施設
傾聴活動実績（延べ） 3,085件（294日間）

(3) ボランティア養成等事業の実施

①サマーショートボランティアスクールの実施

喜多方地区 高校生 4名
熱塩加納地区 中学生 19名、小学生 5名
塩川地区 中学生 2名、小学生 1名
山都地区 中学生 5名

②福祉ボランティア事業

一人暮らし高齢者宅訪問ボランティア（熱塩加納地区） 1回実施 18名参加
炊き出し訓練事業（塩川地区） 1回実施 56名参加
エルムホーム夏祭り協力（塩川地区） 1回実施 5名参加
炊き出し訓練（高郷地区） 2回実施（31名参加）
かたくり荘清掃ボランティア（高郷地区） 3回実施（37名参加）

(4) 除雪ボランティア事業の実施

除雪作業を支援することにより、高齢者等の精神的・身体的負担を軽減し、地域における支え合い及び福祉の向上を図るため、除雪ボランティア事業を実施した。

地区名	実施日	対象件数	参加者数
喜多方	1月28日（土）	12件	119名
熱塩加納	2月4日（土）	24件	124名
塩川	1月28日（土）	8件	56名
山都	2月11日（土）	10件	94名
高郷	2月18日（土）	5件	86名
合計		59件	479名

(5) 視覚障がい者を対象にした『声の広報』の編集・発行

朗読ボランティア「せきれいの会」の協力を得て、ボランティア会員が総合福祉センター録音室で、広報きたかたを朗読しテープに録音したものを、『声の広報』として希望者に郵送した。

○毎月1回・利用者 8名 朗読ボランティア 10名

(6) 点訳ボランティアの養成

点訳サークル「eyeの会」では定期的に点訳の勉強会等を実施した。

○毎月1回・会員数7名

(7) 児童生徒の福祉作文集『ちいさなて vol. 12』の発行

市教育委員会及び市内のボランティア協力指定校の協力を得て、児童・生徒の福祉に関する思いや考え、日常や学校でのボランティア体験等を綴った作文を募集し、福祉作文集『ちいさなて vol. 12』を発行した。

4. 地域福祉事業

(1) 心配ごと相談所の開設

市民の日常の心配ごと、困りごとの相談を受けることにより、市民一人ひとりが安心して暮らせる地域社会づくりに寄与するため、本・支所において心配ごと相談所を開設した。

<相談内容別内訳>

○生活費に関すること	69 件	○年金に関すること	0 件
○家族関係に関すること	5 件	○就労に関すること	2 件
○医療に関すること	3 件	○生活全般に関すること	33 件
○その他	51 件	計	163件

(※生活困窮者支援事業に関する相談は除く)

(2) ミニサロン等交付事業

福祉活動支援金を財源として、地域の絆を築く交流事業等に対して交付金を交付し活動の支援を図った。

ミニサロン等事業	4箇所
交流事業	5箇所
交付額計	78,000円

(3) 「ふれあいいいききサロン」の開設 (35箇所)

高齢者の交流を深め、助け合い・支え合いながら健康で楽しい生活を送っていただくことを目的に「ふれあいいいききサロン」の開設と運営を支援している。

サ ロ ン 名	地区名	サ ロ ン 名	地区名
松が丘いきいきサロン	喜多方	吉志田いきいきサロン	喜多方
桜ガ丘いきいきサロン	喜多方	村松三区さゆり会	喜多方
清水台いきいきサロン	喜多方	関柴地区いきいきサロン	喜多方
東四ッ谷いきいきサロン	喜多方	ひばりが丘いきいきサロン	喜多方
上三宮二区いきいきサロン	喜多方	渋井いきいきサロン高德会	喜多方
寺町いきいきサロン	喜多方	花園いきいきサロン	喜多方
譲屋いきいきサロン	喜多方	桜町ふれあいサロン	喜多方
菅原町ニューサロン	喜多方	幸町いきいきサロン	喜多方
針生ひだまりサロン	熱塩加納	野辺沢いきいきサロンたんぼぼ	熱塩加納
新崎いきいきサロンお達者クラブ	熱塩加納	○半在家いきいきサロン	熱塩加納
柴城地区いきいきサロン	塩川	上窪地区いきいきサロン	塩川
別府地区いきいきサロン	塩川	塩川地区いきいきサロン	塩川
大木地区いきいきサロン	塩川	河原田いきいきサロン	山都
広野いきいきサロン	山都	藤沢いきいきサロン	山都
ふなひきいきいきサロン	山都	小布瀬原いきいきサロン	山都
千咲原いきいきサロン	山都	木曽いきいきサロン	山都
舘原いきいきサロン	山都	松ヶ丘いきいきサロン	山都
西黄地区いきいきサロン	高郷		

(○は、平成28年度に新規開設)

○ふれあいいきいきサロン世話人連絡会の開催

日 時 平成29年 3月 9日
内 容 サロン活動推進に係る情報提供等

(4) 日常生活自立支援事業

福島県社協からの委託により、日常生活に不安を抱える高齢者や障がい者の方々が地域において安心して暮らしていくため、支援を行う喜多方市各地区担当の生活支援員8名を選任して金銭管理等の援助を行い、日々の生活における自立に向けた支援活動を展開した。

年度末契約件数 4件

(5) 生活福祉資金（離職者支援資金）の貸付

福島県社協の資金である生活福祉資金貸付けの手続きを行い、必要な援助を行った。

貸付件数 6件（1,044,000円）

(6) 小口生活援助資金の貸付

本協議会の独自事業として、低所得者の緊急的な経済的問題を解決し安定した生活が送れるよう資金の貸付けを行った。

貸付件数 54件 (2,450,000円)

(7) 高額療養費の貸付

高額療養費支払いに困窮する者に対し資金を貸し付け、その世帯の経済的自立を助長し、生活の安定を図った。

貸付件数 1件 (44,400円)

(8) おもちゃ図書館の運営

全ての子ども達が、「おもちゃ」や「本」を通して人間性豊かに成長することを支援するとともに、保護者に交流の場を提供した。

本所	年間利用人員延	3,976名	開館日数	98日
熱塩加納支所	年間利用人員延	154名	開館日数	12日
塩川支所	年間利用人員延	995名	開館日数	43日
山都支所	年間利用人員延	75名	開館日数	12日
高郷支所	年間利用人員延	64名	開館日数	12日
	計	延 5,264名	計	177日

1) 子育て支援事業の実施

・たのしい人形劇	平成28年	5月24日	34名参加
・ベビーマッサージ	平成28年	6月28日	25名参加
・ママと子どもの交通安全教室	平成28年	9月27日	41名参加
・乳幼児期の食について	平成28年	10月25日	41名参加
・もこもこキッズ運動会	平成28年	11月29日	42名参加
・たのしい人形劇	平成29年	1月24日	31名参加
・とりかえっこバザー	平成29年	2月28日	30名参加
		計	244名参加

(9) 福祉と介護の出張講座

市内小中高校で行われた福祉教育に関する授業や機関・団体等が主催する各種集会において、福祉に関する知識を深めていただくため職員を講師として派遣した。

項目	派遣職員数	開催回数
高校生を対象とした高齢者疑似体験等	3名	2回
小学生を対象とした高齢者疑似体験等	3名	1回
介護職員初任者養成研修(耶麻農業高校)	6名	21回
高齢者サロン等での福祉講座	5名	5回

(10) 高齢者生産活動センターの管理運営

「高齢者生産活動センター」を拠点とし、高齢者のコミュニティが一層拡大されるよう利用者の加入促進及び各グループの技術向上を図りながら、生産性の向上、販売先の開拓に取り組んだ。

また、センターまつりの開催、アートぶらりーへの参加、更には、ふれあい作品展や体験教室指導、各種イベントでの出店を行い生産品の販売と、会員募集、事業活動のPRに努めた。

1) 各グループ活動

登録者数 151名

年間延活動人員及び延活動日数 7,622名 / 904日

<内訳>

項目	グループ等名	登録人数	年間延活動人員	延活動日数
グループ活動	手芸グループ	28名	1,140名	78日
	陶芸グループ	49名	2,997名	201日
	菌茸グループ	16名	387名	56日
	園芸グループ	8名	410名	127日
	織物グループ	30名	1,138名	84日
	押し花絵グループ	9名	283名	55日
	わら工芸グループ	11名	607名	108日
グループ活動計		151名	6,962名	709日
その他の活動	パソコンクラブ		113名	27日
	土根壤耕遊塊		190名	62日
	イベント等全体活動		357名	106日
その他の活動計			660名	195日

(11) 高齢者生きがい対策事業の実施

○陶芸教室の開催

高齢者のいきがいつくりの一環として塩川地区と山都地区において陶芸教室を開催した。

・塩川地区 会員数38名 延べ 607名 / 76日

研修事業の実施 日帰り研修 17名参加 一泊研修 13名

体験講習受入れ 4回

・山都地区 会員数11名 延べ 75名 / 21日

○一人暮らし高齢者等支援事業

・元気教室バス旅行（熱塩加納地区） 1回開催（10名参加）

・閉じこもり予防事業<小旅行>（塩川地区） 1回開催（9名参加）

・閉じこもり予防事業<集合昼食会>（山都地区） 1回開催（12名参加）

- ・閉じこもり予防事業<小旅行> (山都地区) 1回開催 (18名参加)
 - ・友愛訪問お弁当サービス (高郷地区) 1回開催 (47食)
 - ・一人暮らし等交流事業 (高郷地区) 1回開催 (16名)
 - ・買物支援事業 (高郷地区) 2回開催 (17名参加)
- 計 8回開催

(12) 児童館運営事業への協力

父母の共働きや疾病、その他の理由により十分な保護育成ができない世帯等の児童に、健全な遊びや運動・製作活動・社会研修等を体験させる児童館運営事業に、児童厚生員を配置しその運営に協力した。

(平成29年3月末現在)

児童館名	登録児童(幼児・学童)数	年間受入人数 (延べ)
中央児童館	73名	13,781名
上三宮児童館	23名	4,397名
岩月児童館	38名	7,642名
関柴児童館	35名	7,670名
熊倉児童館	39名	8,400名
慶徳児童館	38名	7,450名
豊川児童館	58名	12,606名
喜多方児童クラブ館	113名	25,519名
松山児童クラブ館	54名	12,984名
しきみ児童クラブ館	45名	10,650名
計	516名	111,099名

(13) 支部社協事業の活動支援

1) 支部社協活動への支援

安心して暮らせるまちづくりの形成を地域全体で推進していくための支部社協活動の推進に協力した。

支部名	設立年月日	支部名	設立年月日
慶徳支部	平成9年8月24日	関柴支部	平成12年3月12日
松山支部	平成10年3月14日	熊倉支部	平成13年10月10日
岩月支部	平成11年2月11日	上三宮支部	平成17年9月7日
豊川支部	平成11年7月21日		

2) ふれあいネットワーク事業(支部社協事業)

ひとり暮らし高齢者を対象として生活支援活動や見守り活動を行う「ふれあいネ

「ネットワーク事業」を実施した。

ネットワーク 活動延べ件数	5, 155件	慶徳地区 2,794件 松山地区 2,344件 熊倉地区 17件
------------------	---------	-------------------------------------

3) 支部社協代表者会議の開催

7支部社協の代表者による情報交換を行い、活動の充実を図る目的により代表者会議を2回開催した。

(14) 福祉団体の育成支援

少子高齢社会の急激な進行と地域における連帯感の希薄化が進んでいる今般の現状を踏まえ、市民主体の活動を支援するため市内で活動している福祉団体の事務局として、育成支援を図った。

- 1) 民生児童委員連合会 2) ふれあい福祉協議会 3) 老人クラブ連合会
- 4) 赤十字奉仕団 5) 日本赤十字社有功会 6) 手をつなぐ親の会
- 7) 身体障がい者福祉会 8) 福島いのちの電話 9) 瓜生岩子刀自顕彰会
- 10) 更生保護協議会 11) 遺族会連絡協議会

(15) 家族介護者交流事業の実施

介護をされている方々を対象に、心身の負担軽減と同じ介護者同士の交流を図ることを目的に家族介護者交流事業（リフレッシュ事業）を実施した。

- ・一泊リフレッシュ事業（平成28年10月12日～13日）
参加者：20名 行き先：茨城県大洗方面
- ・日帰りリフレッシュ事業（平成28年10月27日）
参加者：6名 行き先：裏磐梯方面
- ・交流会事業（平成28年11月7日）
参加者：5名 会場：いいで荘

(16) 在宅介護者教室の開催

在宅で高齢者等を介護している市民を対象に、喜多方市内の入所施設の種類や処遇、料金などの概要について学び、施設福祉への理解を深めることを目的として施設見学を実施した。

- ・塩川コース 平成29年 2月23日 15名受講
- ・喜多方コース 平成29年 3月 7日 14名受講

(17) 福祉バスの運行

市民の福祉向上に寄与するため、福祉バスを運行した。

運行日数 延 193 日（運行台数3台）

(18) 車椅子貸し出し事業

高齢者や障がい者の家族旅行や外出など短期間の車椅子使用に対応するため、貸出し（無料）を行った。

貸出件数 61件

(19) NPO法人日本入れ歯リサイクル協会への協力

不要になった入れ歯を回収し、精製した貴金属をユニセフ募金を通して世界の子どもたちのために役立てる活動に協力した。

精製貴金属量 27.2g (33,122円)

(20) 資源回収の取組み（エコキャップ）

ポリオワクチンを開発途上国に贈るエコキャップ運動に賛同し、市内の学校、事業所、個人からの寄託を受け、回収業者へ納入するための支援を行った。

業者へ納入したエコキャップ 1,411キロ（ポリオワクチン換算 705人分）

5. 東日本大震災・福島第一原子力発電所事故避難者に対する支援

(1) 大熊町からの避難者のつどい「喜多方のつどい」への協力

大熊町から喜多方市に避難されている方を対象に、情報交換や閉じこもり防止、心配ごと相談、軽体操やレクリエーションの実施などを目的に月1回、総合福祉センターで開催されている「喜多方のつどい」の運営に職員が協力した。

(2) 避難者健康相談会への協力

会津保健福祉事務所並びに富岡町が主催する健康相談会（各月1回）の運営に職員が協力した。

6. 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

行政区長会、民生児童委員協議会を始め多くの市民の協力を得て、民間社会福祉事業の財源となっているこの運動に精力的に協力した。

共同募金実績 8,390,435円

歳末たすけあい募金実績 4,485,045円

○街頭募金の実施

喜多方地区 3ヶ所 ヨークベニマル喜多方店、コープBESTAひがし店、
リオンドール喜多方西店

塩川地区 1ヶ所 コープBESTAしおかわ店

高郷地区 1ヶ所 高郷公民館（文化祭イベント会場）

※募金ボランティア参加者 小学生 3名、中学生 9名、高校生 5名、
一般 11名 計 28名

7. 日本赤十字社への協力

1) 人道・博愛を目的とした日本赤十字社事業に対して社資募集に係る協力を行った。

社資実績額 10,890,115円
達成率 145.4% (優良地区として表彰)

2) 赤十字救援車補助金

赤十字活動の推進を図るため、日赤福島県支部より赤十字救援車購入に係る補助を受けた。

補助額 120万円

8. 福祉施設の管理運営

(1) 喜多方市総合福祉センターの管理運営

総合福祉センターの管理については、その目的達成のため最良な管理に努めた。また、高齢者福祉センターについては、高齢者の憩いの場として、また各種会合などに市民の方々から広く利用された。

高齢者福祉センター年間利用人員 30,512名 (開館日数 308日)
・多目的ホール貸出回数 347回 (利用者数 11,459名)
・会議室貸出回数 323回 (利用者数 2,713名)

(2) 熱塩加納保健福祉センター「夢の森」の管理運営

市内で開催されたイベント等でのパンフレット配布、観光案内所、道の駅、コンビニエンスストア等にパンフレットの設置、更には、近隣の道路にのぼりを立てるなどし、誘客に努めた。

保養施設 営業日数294日 延利用者数 66,604名
運動施設 (ゲートボール場) 利用日数146日 延利用者数 1,814名
送迎車の運行 延日数 36日 延べ利用者数 334人

(3) 塩川保健福祉センター「いきいきセンター」の管理運営

パンフレットを作成し各種イベントで配布するなど誘客に努めた。また、ボランティア団体の協力を得ながら館内に季節折々の飾りつけを行い、和やかな雰囲気づくりに努めた。

保養施設 (温泉入場者) 営業日数 311日 延利用者数 21,451名
巡回福祉バス運行 104日 (毎週水・木曜日)

(4) 生活支援ハウス事業

一人暮らし高齢者等を対象として、安全で安定した生活の場を提供し、自立の支援を図った。

○山都生活支援ハウス10部屋 3名入居 (3月末現在)
○高郷生活支援ハウス 7部屋 2名入居 (3月末現在)

9. 生活サポートセンター事業（生活困窮者自立相談支援事業）

（1）生活サポートセンター事業（生活困窮者自立支援事業）

平成27年4月施行の生活困窮者自立支援制度に基づき、就業や生活上の不安、心配ごとを抱え経済的に困窮している方の相談に応じた。

1) 生活困窮者に対する包括的相談支援事業

新規相談人数	62名
支援プラン策定件数	41件（支援調整会議で決定）
就労者件数（延べ）	44件
支援実施延べ回数 （前年度からの継続支援者数含む）	1,647回 （面接相談、電話相談、訪問相談、同行支援、支援調整会議、他機関への照会等）

なお、プラン策定にならない方に関しては、関係機関につなぐ等の対応をした。

（2）関係機関とのネットワークの構築と社会資源の開発

各地区児童民生委員協議会、会津教育事務所スクールソーシャルワーカー連絡会研修会、新任民生児童委員研修会、民生児童委員生活福祉部会研修会などへ出席し、制度説明や相談状況報告等、支援内容周知を行い顔の見える関係づくりに努めた。

（3）支援調整会議の実施

喜多方市社会福祉課及びハローワーク等と定期の会議を開催し、相談者の生活状況改善に向けて支援計画の検討や意見交換を行った。

平成28年度開催 12回

（4）フードバンク事業

平成27年10月23日にコープ東北サンネット事業連合とコープフードバンク協定を締結し、生活困窮者に対しフードバンクから提供を受けた食料品の提供を行った。

平成28年度提供実績 45世帯（延べ79回）

（5）「きたかた子ども食堂」への支援と連携

平成28年9月に設立された「きたかた子ども食堂」と情報の共有を図り、幼児・児童等を抱える生活困窮者世帯への支援につなげるとともに、フードバンクを通じて食料品の提供及び食堂運営への連携と協力を行った。

平成28年度提供実績 延べ5回提供

(6) 広報・周知について

生活サポートセンターの周知に関し、関係機関を通して市民へリーフレット配布を行うとともに、市の広報2回、社協広報で4回の掲載を行うほか、FMきたかた「茶の間のふくし」番組出演にてPRを図った。

9. 在宅福祉サービス事業の健全経営

(1) 居宅介護支援事業所3事業所、訪問介護事業所2事業所、通所介護事業所5事業所、訪問入浴介護事業所1事業所を運営し、利用者のニーズに応えるため、部門間の連携、財務体質の改善等を図りながら事業所の健全な経営に努力した。(別紙1)

10. 包括的支援事業の推進

地域包括支援センターを拠点とし、高齢者が住み慣れた地域で要介護状態にならないよう予防対策に取組み、包括的支援事業を積極的に推進した。

また、認知症高齢者の増加に伴い喜多方市高齢福祉課と連携を図り、認知症サポーター養成講座(オレンジ・スマイル)開催への協力や、総合相談の対応についても利用者・家族の要望に応じ相談できる体制作りを図った。(別紙2)